

成田市 消費生活センター



Q 消費生活センターに相談する方法を知りたいのですが。

A 消費生活センターは消費者の消費生活に関する情報提供をしています。また、消費者と事業者の間に生じた商品および役務に関する苦情の処理のための助言やあっせんもしています。

相談の受け付けは、毎週月曜日から金曜日の午前10時から午後4時までです。電話(23-1161)やFAX(22-4404)、来所での相談に応じていますが、電話やFAXの場合、状況によっては消費生活センターに来所してもらう場合があります。

相談する人は本人の承諾を得て必要なことを聞き取った代理人でもよいのですが、相談内容などを正確に把握し、本人の意向を確認するためにも契約当事者からの相談が望まれます。

『テレビが発火した』など商品の安全性に関する相談の場合、事故発生日、損害の程度、商品名、製造者名などが必要です。

『布団の点検で来た業者から新しい布団を売りつけられた』など消費者が事業者とのトラブルの相談をするときは、「いつ」「どこで」「だれが」「どんな方法で」「何を契約したか」「トラブルの内容は」「どうしたいのか」などについて、くわしくお伝えください。契約書などの関係資料と、契約のいきさつをメモにして準備しておくくと相談がスムーズに進みます。

クーリング・オフ(無条件解除)などは申し出期限があります。少しでもおかしいと思うときや不安な点はすぐに相談してください。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

エコドライブの 勧め



自動車の排出ガスには地球温暖化の主な原因といわれるCO₂(二酸化炭素)が大量に含まれています。そのCO₂を減らすため、以下のようなエコドライブ(環境に配慮した運転)を心掛けることが推奨されています。

◆不要なアイドリングをしない

10分間のアイドリングで約0.1~0.2ℓのガソリンを無駄に消費します

◆急発進、急加速をしない

100回の急発進や急加速で約1.2ℓのガソリンを余計に消費します

◆タイヤの空気圧を適正に保つ

空気圧が適正値よりも0.5気圧少ないタイヤで100km走行すると、約0.2ℓのガソリンを余計に消費します

◆無駄な荷物を積まない

約30kgの不要な荷物を積んだ状態で1,000km走行すると、約1ℓのガソリンを余分に消費します

エコドライブはCO₂の削減に役立つだけでなく、大気汚染も抑制し、燃料代の節約や安全運転にもつながります。多くの面で有益なエコドライブを、身近なことからぜひ実践してみてください。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。

消防・防災・防犯 知っ得 暮らしの安全 情報

平成17年、市内で自動車を狙った犯罪は643件発生しました。

- 短時間でも自動車から離れるときは、必ずエンジンキーを抜きドアロックをし、窓は完全に閉める
- 盗難防止装置(イモビライザーな

自動車盗難急増中

- ど)やハンドルロック、自動警報など複数の盗難防止機器を併用する
- 金銭やバッグなどの貴重品は、車内に置かないようにする
- 違法な路上駐車はやめ、見通しがよく、監視の行き届いた明るい駐車場を利用する

- スペアキーを車内に置いたり、バンパーの裏などに張り付けないようにする
- 駐車中の車の周りをうろつく不審者がいるときは、速やかに110番通報する

成田市内の犯罪発生件数
(平成18年1月~6月末まで)
自動車盗.....40件
車上狙い.....173件
部品盗.....72件

☆ドアロックの場合でも、ガラス破り・鍵穴などのこじ開けによる、カーナビや車内に置かれたバッグの盗難が増えています。

※くわしくは交通防犯課(☎20-1527)へ。

